

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			

職員による自己評価

A環境面

事業所が狭いというお声が多く見通しも悪かったため、室内の壁を取り払い一部屋にしたため、活動の幅が増えた。子供たちの距離感も適切に保てるようになった。

B児童への支援内容

全体と個別に分けた支援を行い、公園活動と室内活動などは子供達自身で選択できるようにして支援している。

コロナ感染症予防を徹底しながら、屋外活動もできるだけ実施できるようにしている。

C関係機関との連携

送迎時には学校での様子の確認を都度行なっている。必要に応じて電話連絡等を行い、情報共有、問題解決に努めている。

ケース会議も実施があれば参加している。

D保護者への説明責任・信頼関係

月に1度写真を全体に配布して、活動の見える化を図っている。

できるだけ送迎時に保護者様と話しをできるように時間配分を行なっている。

SNSではほぼ毎日活動報告を行っている。

E非常対応

半年に一回避難訓練を実施し、連絡帳や写真で保護者様にもお伝えしている。

保護者による評価

A環境面

壁を取り除いたことで十分なスペースを確保できている。

B児童への支援内容

日数多く利用していますが、子どもが楽しんでいるのでかなり工夫してくださっていると思う

C事業所からの情報発信

Facebook、Instagram共にフォローさせていただき、子供達の活動の様子を見ています。すぐに見られるのはありがたい。

・すごく丁寧に報告をしてもらっている。

D非常対応

マニュアルを周知してもらえて、避難訓練の状況も伝えてくれてわかりやすい。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 訓練室の壁を取り除いたことで、十分な活動スペースを確保することができた。
- ・ 行事や取り組みを評価していただけている。
- ・ SNSでの発信も確認していただい、タイムリーに取り組みを把握してもらっている。
- ・ 保護者様とお話する機会を多めに設けていることで、安心材料になっている。

【相違点】

・ 特に大きな相違点はなかったが、コロナの影響で外部との関わりがなくなっていることのご意見はいただいた。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・ 豊富な外出活動。
- ・ クッキングなど、日々参加型の支援を行っている。
- ・ 情報発信（報告書や SNS、写真配布）

事業所の改善点

- ・ 職員の入れ替わりがあった際の報告
 - ・ 父母会の実施
- ※コロナ予防のため令和3年度も未実施

事業所の改善への取り組み

コロナ予防を徹底した上で引き続き外出支援を継続し、できる限り外部との関わりを増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所が狭いことが悩みだったため壁を取り除いたところ、親御さんにも評価いただけてよかった。コロナ感染症でなかなか長い時間お話しする機会がないため、こう言った形で評価をいただけるのは良い。

事業所名 放課後等デイサービス ジュン あさひ
担当者 三條 あゆみ